

令和 6 (2024) 年度
第 2 回学校運営協議会



日 時 : 令和 6 年 2 月 18 日 (火) 13:30~15:00
場 所 : 黒磯高等学校 情報室

栃木県立黒磯高等学校
栃木県那須塩原市豊町 6 番 1 号
TEL 0287 (62) 0101
FAX 0287 (62) 4645

次 第

- 1 開会 13:30
- 2 校長挨拶
- 3 S T E A M教育生徒発表
- 4 議事
 - (1) 学校概況報告
 - (2) 学校評価について
 - (3) その他
- 5 その他
- 6 閉会 15:00

配付資料

令和6年度第2回学校運営協議会資料

出席者名簿

〈学校運営協議会委員〉

皆川 純男 様	(国際医療福祉大学 参事・主幹)
人見 忠夫 様	(同窓会会長・元県立学校長)
相馬 幸男 様	(黒磯中学校長)
荒井 毅 様	(黒磯小学校長)
田中 明男 様	(東京計器株式会社那須工場 工場長)
小林 邦靖 様	(那須塩原市住吉町自治会長)
丑越 薫 様	(元中学校校長)
山形 紀弘 様	(元PTA会長・那須塩原市議会議長)
高根沢大地 様	(那須塩原市商工会青年部長)
奥田 美弘 様	(PTA会長)
吉田 嘉宏	(黒磯高等学校長)

〈学 校〉 教 頭	岩淵 吉勝
事務長	尾関 智子
主幹教諭(地域連携・探究部長)	伊藤 純
教務主任	村上 和久
情報部長	福井 亘
学習支援部長	高田 勝廣
生徒支援部長	高久 昌弘
特別活動部長	松本 洋一
健康支援部長	関口 敬
進路支援部長	薄井 昭博
渉外部長	會田 孝一

校訓「自主 友愛 不屈」

教育目標「心豊かで逞しい自立した人間を育てる」

スクール・ミッション（高校の存在意義・社会的役割等）

ウェルビーイングを目指した課題発見・解決型学習を通して、地域や社会において新たな価値を創造できる人材を育成する学校

スクール・ポリシー（3つの方針）

- ① グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
 - ・心身ともに健やかで、自己を肯定し、夢や目標の実現に向け、前向きに努力する人を育てます。
 - ・幅広い知識を身に付け、多様な視点から問題を捉え、主体的に解決する力を育てます。
 - ・地域や社会への関心を高め、多様な他者とながら協働しながら、その発展に貢献しようとする態度を育てます。
- ② カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
 - ・生徒の課題発見・解決能力の育成を目指し、教科横断的・探究的教育活動を展開します。
 - ・生徒一人一人の資質・能力の伸長を目指し、ICT等を活用した個々の希望進路と学習状況に応じた学びを提供します。
 - ・主体性・協働性の育成を目指し、地域と連携した学習や学校行事等の特別活動を充実させます。
- ③ アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）
 - ・基礎的な知識や技能を備え、主体的に学ぼうとする意欲をもった生徒
 - ・他者を尊重する姿勢をもち、協働しようとする生徒
 - ・多様な活動を通して、自己実現を達成しようとする生徒

令和6年度 重点努力目標

- ① STEAM教育の推進と総合的な探究の時間の充実
- ② ICTの活用と主体的で個別最適な学習の推進
- ③ 自己指導能力の育成を目指した教育活動の充実
- ④ ウェルビーイングに基づく学校づくりの推進

令和6年度 学校経営方針

R6.4.1 校長

1 方針の背景…別紙参照

2 学校経営方針

(1) 校訓「自主・友愛・不屈」の精神 (KUROISO PRIDE) の涵養と教育目標、スクール・ミッションの実現

- 教育目標「心豊かで逞しい自立した人間を育てる」
- スクール・ミッション「ウェルビーイングを目指した課題発見・解決型学習を通して、
地域や社会において新たな価値を創造できる人材を育成する学校」
- 授業、学校行事、部活動等教育活動のあらゆる場面での意識付け

(2) ウェルビーイング（「一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ」）に基づく学校づくり

- 予測困難な時代を幸せに生きるために必要な資質・能力の育成 → 「あり・あり・なん・や」
「ありのままに因子」(独立とマイペースの因子) 慶応大学大学院教授 前野隆司 氏
…自分を認め肯定しありのままを受け入れる。自分らしく他人に左右されずに、マイペースで生きる。
- 「ありがとう因子」(つながりと感謝の因子)
…多様な人の存在を認め、寛容性を持ってつながり、感謝し、感謝される人生を生きる。
- 「何とかなる因子」(前向きと楽観の因子)
…困難な状況に陥っても、物事を前向きに、また楽観的にとらえてチャレンジする。
- 「やってみよう因子」(自己実現と成長の因子)
…自分の強みを持ち、夢や目標を達成しようと努力する。
- ウェルビーイングの観点による教育活動の展開、生徒・職員にとって幸せな学校づくりの推進
- 自他を尊重し、差別や偏見のない社会を実現する態度の育成 → R5・6 高教研 人権教育部会 事務局

(3) 生徒を主語とした授業・教育活動の推進 (学びの伴走者としての教師)

- 生徒の「自己指導能力」獲得のための日常的な「発達支持的生徒指導」、学習指導と生徒指導の一体化
- 生徒の学習意欲を高める授業 → 知識教授型の授業から「主体的・対話的で深い学び」の授業へ
- 生徒の高い進路意識の醸成と自己実現に向けた支援 → 進路を考える機会・経験の提供と進路相談
- ICTを活用した個別最適な学びの推進と主体的学習習慣の確立 → スタディ・サプリ等の効果的活用
- 探究活動の推進による課題発見・解決力及びプレゼンテーション力の育成
→「総合的な探究の時間」の充実と体系的・組織的な展開 → STEAM教育3年間のまとめ
→定期的な発表によるプレゼンテーション力の育成
→進路目標の発見と、生徒の個性や能力、経験等を活かした進路実現 (総合型選抜の活用)
- 生徒の自己肯定感、自発性、自主性を高める特別活動や部活動運営と活性化 (教師は助言者・支援者)
→生徒による主体的・自立的な学校行事、委員会活動 (生徒会活動・行事の生徒への委譲)
→生徒主体の部活動 (活動目的、目標、練習計画、練習メニュー等の部員による立案)
→アントレプレナーコンテストや科学甲子園、各種ボランティア活動などへの積極的参加の推奨
- ICTリテラシーと情報モラルの育成 → 高等学校等デジタル人材育成事業 (DXハイスクール)
- 教職員の意識改革と、研究・修養による授業力の向上 → ICTの活用や探究活動等の校内研修の実施

(4) STEAM教育を軸とした特色化の推進と地域連携

- STEAM教育による教科横断的な学びの推進と各種能力の育成→探究活動と「学びのSTEAM化」
- 企業や行政、大学、研究機関等との連携によるSTEAM教育の推進
- 地域との連携・協働の推進と、社会の持つ教育力や人的・物的資源の活用

(5) 危機管理の徹底と教職員の心身の健康の保持・増進

- 学びの場における安全の確保、熱中症対策の徹底、新型コロナ感染防止対策と蔓延時の対応
- 教育課題への迅速かつ組織的な対応、報告・連絡・相談の徹底と風通しのよい職場づくり
- 法令遵守の徹底と服務規律の確保、ストレスの少ない職場づくりによる不祥事の防止
→体罰、性暴力、セクハラ、パワハラ、飲酒運転、個人情報漏洩等の防止、公金の適正な管理等
- 働き方改革に基づく業務改善、同僚性と互助の精神、ワーク・ライフ・バランスを意識した取り組み
→計画的な年休の取得、週2日以上の部活動休止日、毎週水曜日の定時退勤の実施等

（１）急激に変化する社会

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来、AIの急速な進化によるシンギュラリティ
- 新型コロナウイルスの感染拡大や国際紛争など、先行き不透明な「予測困難な時代」
- 急速な人口減少、少子高齢社会の進行、成人年齢18歳への引き下げ
- 地球温暖化の進行、大規模な自然災害

（２）高等学校新学習指導要領の実施（R4入学生より学年進行）

- 何ができるようになるか。
 - ・生きて働く「知識・技能」の習得
 - ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等の育成
 - ・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
- 何を学ぶか。
 - ・新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や内容等の見直し
 - ・「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」へ
 - ・学習の基盤としての各教科等における言語活動の充実
 - ・「公共」の新設、理数教育の充実、外国語教育の充実、情報教育の充実
- どのように学ぶか
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善
- 「社会に開かれた教育課程」の実現（「カリキュラム・マネジメント」の実現）
 - ・よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を教育課程を通して社会と共有
 - ・人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育む
 - ・地域の人的・物的資源の活用など、学校教育を学校内に閉じずに、目標を社会と共有・連携しながら実現

（３）中央教育審議会 答申（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して R3.1.26）

- 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿
 - ・「個別最適な学び」（指導の個別化と学習の個性化）
 - ・「協働的な学び」・探究的な学習等を通じ、多様な他者と協働
 - ・高校教育での子供の学び
 - ・多様な関係機関との連携・協働による地域・社会の課題解決に向けた学び
 - ・多様な生徒一人一人に応じた探究的な学びや、STEAM教育など実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な学び
 - ・教職員の姿・教職生涯を通じて学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割（子供を主語とした教育）
- 「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用
 - ・個別最適な学びと協働的な学びを実現するためにはICTは必要不可欠
 - ・これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで、教育の質の向上につなげる
- 新時代に対応した高等学校教育等の在り方について
 - ・高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高校の特色化・魅力化
 - ・各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化（スクール・ミッションの再定義）
 - ・各高等学校の入り口から出口までの教育活動の指針（スクール・ポリシー）の策定
 - ・STEAM教育等の教科横断的な学習の推進による資質・能力の育成

（４）高大接続改革

- センター試験から共通テストへ（R3年度入試～）
 - ・知識を問う問題から、知識の活用力、思考・判断・表現力を問う問題へ
 - ・英語のリスニング配点の増加、1回しか聞けないリスニング
 - ・R7年度入試から教科「情報」の導入
- 国公立大学での総合型選抜・学校推薦型選抜の割合の増加（R6入試・23.0%）

(5) 生徒指導提要の改訂 (R4.12 文科省 (H22 以来の改訂))

- 生徒指導の定義：「社会の中で自分らしく生きることができる存在へと児童生徒が、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである」→生徒への「支援」として行われる生徒指導
- 課題解決的な指導だけではなく、「成長を促す指導」等の「積極的な生徒指導」
→「発達支持的生徒指導」「課題未然防止教育」を日常的に、タイムリーに行っていく
- 個別の重要課題 (いじめ、不登校、児童虐待等) を取り巻く関連法規等の変化を反映させた対応
- 新学習指導要領やチーム学校等の考え方を反映させた対応 (生徒の発達の支援)

(6) 第4期教育振興基本計画 (令和5～9年度) R5.6.16 閣議決定

- 2つのコンセプト
「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」
 - ・将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる
 - ・主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成
- 「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」
 - ・多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上
 - ・幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的・一体的に育む
- 5つの基本方針
 - ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成→探究・STEAM教育、文理横断
 - ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
 - ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
 - ④教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 → GIGA スクール構想、情報活用能力の育成
 - ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

(7) 栃木県教育振興基本計画 2025 (2021～2025)

- 基本理念「とちぎに愛情と誇りをもち、未来を描き、ともに切り拓くことのできる
心豊かで たくましい人を育てます」

(8) STEAM教育推進事業モデル校指定 (R4年度～R6年度)

- ものづくり県など栃木の強みを活かした栃木版STEAM教育の推進
- 育成を目指す力
 - ・問題の本質を把握し自ら問いを立てる力
 - ・答えが一つに定まらない問題に対して、試行錯誤しながら自ら解を見いだしていく力
 - ・自他の考え方を尊重しながら、他者と協働して物事を成し遂げる力

(9) 働き方改革の推進

- 「学校における働き方改革推進プラン(第2期)」 (R4年度～R8年度)
 - ・目標1：時間外在校等時間を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内
中間目標：時間外在校等時間が1か月で80時間を超える教員の割合をR6年度までに0%にする
 - ・目標2：業務改善により、教材研究や生徒指導等に充てる時間が増加した教員の割合を増やす

(10) 危機管理の徹底

- 那須雪崩事故の教訓 → 予見性 (経験や科学的知見を踏まえ、あらゆる危険の可能性を想定・対処)
- 地球温暖化による異常気象・・・熱中症の危険性増大、暴風雨被害の増大
- 大規模な地震災害、自然災害への備え
- 新型コロナウイルス・ウィズコロナのステージへ・・・再拡大防止と再拡大の際の学びの保証
- 「栃木県教育振興基本計画 2025」基本目標 I 学びの場における安全を確保する
- 不祥事の撲滅 (R5年度県教委懲戒処分9件、うち、わいせつ行為による懲戒免職5件)

黒磯高校で生徒が育む8つの力 (R7～) (案)

知識・技能		思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度	
基礎学力	読解力	自他理解力	課題発見力	課題解決力	表現力	主体性	協働性	
夢や目標実現に向け、また社会において活躍できる人材となるための基盤的知識が身についている。	リテラシーを身に付けると共に、文章やデータを理解し、解釈し分析できる。	自己を認め肯定し、ありのままを受け入れ他者との違いを理解することができる。	急激に変化する現代において、常に新しい課題に気がつき疑問を持つことができる。	困難な状況においてでも物事を前向きにとらえ、見つけた課題解決にチャレンジできる。	ICT活用を工夫し、自分の考えやメッセージを的確にかつ効率的に表現できる。	自律的に行動し、自ら学ぶ姿勢を育み、継続的に行動できる。	思いやりの気持ちを持ち、一人ひとりの多様な幸せと、社会全体の幸せのために、ルールの遵守や、マナーを考慮できる。	

8つの力・自己評価表 (R7～) (案)

評価項目	5 (非常に優れている) 【到達目標】	4 (十分に満足できる) 【履修目標】	3 (やや努力を要する)	2 (努力を要する)	1 (非常に不足)
知識・技能	基礎学力 高度な知識と理解力を持ち、複雑な問題や概念を正確に説明し、関連付けることができる	多くの知識を身につけ、その概念についても理解しており、その問題や概念について説明できる	基本的な知識を理解しており、一般的な問題を自分の言葉で説明できる	基本的な知識のある程度理解しているが、自分の言葉で説明できない	基本的な知識をほとんど理解していない
	読解力 複雑な文章やデータを正確に理解・分析し、的確な口頭説明や要約ができる	ほとんどの文章やデータを理解・分析し、口頭説明や要約ができる	一般的な文章やデータを理解・分析でき、口頭説明や要約ができる	簡単な文章やデータを理解・分析でき、口頭説明や要約ができる	簡単な文章やデータの理解・分析が難しく、口頭説明や要約もできない
思考・判断・表現	自己理解力 自分の強みや弱みを深く理解し適切に表現できる。また、他者の感情や意図を深く理解し効果的なコミュニケーションを取ることができ、相手の立場や視点を尊重できる	自分の強みや弱みをよく理解しており、感情や思考について一定の認識がある。また、他者の感情や意図を理解し、適切なコミュニケーションを取られる	自分の強みや弱みがある程度理解し、感情や思考についての認識に不十分な点はあるが、他者の感情や意図について基本的な理解ができ、コミュニケーションを取ることができ	自分の強みや弱みの理解や、感情・思考についての認識に不十分な点があるものの、他者の感情や意図についてある程度理解ができ、必要なコミュニケーションを取ることができる	自己認識がほとんどなく、自分の感情や思考を把握できない。また、他者の感情や意図においても理解ができず、コミュニケーションに問題がある
	課題発見力 問題の根本原因を的確に特定し、多角的に分析して主要な課題を明確にすることができる	基本的な分析や根本原因の把握ができ、主要な課題を的確に特定できる	分析や根本原因の発見ができ、基本的な課題を特定できる	問題の原因や分析はある程度できるが、課題の特定が困難である	問題の根本的原因や詳細な分析ができず、課題をほとんど特定できない
主体的に学習に取り組む態度	課題解決力 必要な情報を効率的に収集し、信頼性の高いデータを基に課題を正確に分析し、解決に向けて積極的に主体的な行動を取ることができる	関連性のある情報を適切に収集し、課題分析に役立て解決に向けて行動ができる (チャレンジ精神・やり抜く力・レジリエンスについても段階的に取り入れたい)	基本的な情報を収集でき、集めたデータの信頼性や関連性から課題を分析するなど、データの活用とアプローチができる	情報収集に困難があるものの、収集したデータから課題分析をおこなない、基本的なアプローチができる	情報収集がほとんどできず、課題の分析に必要なデータが不十分であり、アプローチがほとんどできない
	表現力 高度なICTツールを自在に使いこなし、複雑なデータや情報を効果的に視覚化できる。それを活用して視覚的、聴覚的要素を適切に組み合わせる。他者に明確にメッセージを伝えることができる	応用的にICTツールを効果的に活用し、情報やデータを分かりやすく視覚化できる。それを活用し、他者にメッセージを十分に伝えることができる	基本的なICTツールを使いこなし、情報やデータを視覚化できる。それを使用してメッセージを伝える際、相手にうまく伝えることができる	ICTツールの使用に困難があるものの、サポートを受けながら基本的な情報やデータの視覚化ができ、メッセージを伝えることはできる	ICTツールを使用できず、サポートがあっても情報やデータの視覚化ができない。視覚的、聴覚的要素の組み合わせがほとんどなく、メッセージが伝わらない
	主体性 目標達成後も新たな目標を設定し、達成に向けて継続して努力し取り組み続けることができる	自ら目標を設定でき、達成のために継続して努力し取り組みることができる	自ら目標を設定でき、取り組みが行える	他者から目標を設定され、取り組みが行える	目標を設定できない
	協働性 他者と協力しながら率先して主体的行動がとられ、ルールやマナーを遵守した生活を送れる	他者と協力しながら主体的行動がとれ、ルールやマナーを遵守した生活を送れる	他者からの協力を受け入れられ、ルールやマナーを遵守できる	他者との協力が不十分であるが、ルールやマナーをある程度遵守できる	他者との協力が取れず、ルールやマナーを遵守できない

※1 横浜国立大学「教員向けルーブリック作成マニュアル」を参考に作成 ※2 事前に各教科で検討したブランドデザイナーをもとに、学校経営方針、並びに重点目標を参考に評価項目を設定している

高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）

令和5年度補正予算額

100億円



文部科学省

現状・課題

大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要

事業内容

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する

- 支援対象：公立・私立の高等学校等
- 補助上限額：1,000万円/校（1,000校程度）
- 補助率：定額補助

○ 求める具体の取組例

- ・情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進（遠隔授業の活用を含む）
- ・情報、数学等を重視した学科への転換、コースの設置（文理横断的な学びに重点的に取り組む新しい普通科への学科転換、コースの設置等）
- ・デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの実施
- ・デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進
- ・高大接続の強化や多面的な高校入試の実施
- ・地方の小規模校において従来開設されていない理数系科目（数学Ⅲ等）の遠隔授業による実施
- ・専門高校において、大学等と連携したより高度な専門教科指導の実施、実践的な学びを評価する総合選抜の実施等の高大接続の強化

○ 支援対象例

ICT機器整備（ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等）、遠隔授業用を含む通信機器整備、理数教育設備整備、専門高校の高度な実習設備整備、専門人材派遣等業務委託費 等

成長分野の 担い手増加

デジタル等成長分野の学部 ・学科への進学者の増



- ・大学段階における理工系学部
- ・学科の増
- ・自然科学（理系）分野の学生割合5割目標
- ・デジタル人材の増

【事業スキーム】

文部科学省

補助

学校設置者

【基準4】

(担当：初等中等教育局参事官付（高等学校担当）)

高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）

令和7年度予算額（案）

2億円
（新規）



文部科学省

令和6年度補正予算額

74億円

現状・課題

大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要

事業内容

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、専門的な外部人材の活用や大学等との連携などを通じてICTを活用した探究的・文理横断的・実践的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する

支援対象等

公立・私立の高等学校等
（1,200校程度）

箇所数・補助上限額 ※定額補助

- 継続校 : 1,000校 × 500万円（重点類型の場合700万円）
- 新規採択校 : 200校 × 1,000万円（重点類型の場合1,200万円）
- 都道府県による域内横断的な取組：47都道府県 × 1,000万円
※必須要件に加えて、各類型ごとの取組を重点的に実施する学校を重点類型として補助上限額を加算（80校（半導体重点枠を含む））

10

採択校に求める具体の取組例（基本類型・重点類型共通）

- 情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進（遠隔授業の活用を含む）
- 情報・数学等を重視した学科への転換、コースの設置
- デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの実施
- デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進
- 高大接続の強化や多面的な高校入試の実施
- 地方の小規模校において従来開設されていない理数系科目（数学Ⅲ等）の遠隔授業による実施
- 専門高校において、デジタルを活用したスマート農業やインフラDX、医療・介護DX等に対応した高度な専門教科指導の実施、高大接続の強化

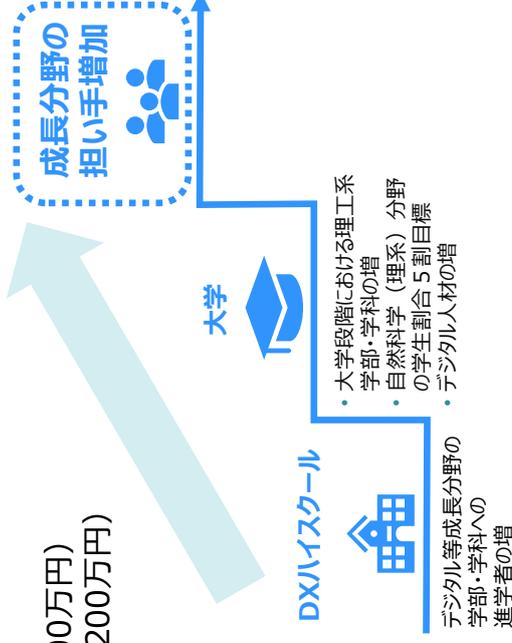
採択校に求める具体の取組例

（重点類型（グローバル型、特色化・魅力化型、プロフェッショナル型（半導体重点枠を含む）））

- 海外の連携校等への留学、外国人生徒の受入、外国語等による授業の実施、国内外の大学等と連携した取組の実施等
- 文理横断的な学びに重点的に取り組む新しい普通科への学科転換
- 産業界等と連携した最先端の職業人材育成の取組の実施

支援対象例

ICT機器整備（ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等）、遠隔授業用を含む通信機器整備、理数教育設備整備、専門高校の高度な実習設備整備、専門人材派遣等業務委託費 等



事業スキーム

文部科学省

補助

学校設置者等

（担当：初等中等教育局参事官（高等学校担当）付）

令和6年度黒磯高等学校 主な行事

- 4月 5日（金） 入学式
 8日（月） 始業式・離任式
 9日（火） 新任式
 23日（火） 生徒総会



- 5月 2日（木） P T A 総会・授業公開
 5日（日） 吹奏楽部グリーンコンサート（ハーモニーホール）
 15日（水） 1学期期末テスト（～17日（金））
 22日（水） 校内球技大会（～23日（木））



- 6月 3日（月） 1・2年スタディサプリ到達度テスト
 11日（火） 創立記念式典・創立記念講（理化学研究所：岡本昌憲氏）
 25日（火）～28日（金） 第1学期期末テスト
- 7月 1日（月） P T A 広報委員会、3年平日課外開始、サイエンスセミナー(NASA 足立氏)
 5日（金） 3年進研記述模試（～6日（土））
 6日（土） 1、2年進研記述模試
 9日（火） 1年進路先体験
 12日（金） P T A レク委員会
 19日（金） 第1学期終業式
 22日（月） 3年夏季学習会（～25日（木））
 3年三者面談、1、2年保護者懇談（～26日（金））
 27日（土） 3年全統共通テスト模試（～30日（日））

8月 4日(日) P T A親善レクリエーション大会
 13日(火) 学校閉庁日(～15日(木))
 19日(月) 夏季課外(全学年、～23日(金)、ただし22日(木)を除く)
 22日(木) 一日体験学習
 24日(土) 1、2年全統記述模試(希望者)
 26日(月) 第2学期始業式
 27日(火) 1、2年第1回実力テスト(2年は28日(水)まで)
 3年校内模試(～28日(水))
 31日(土) 黒磯高祭一般公開

9月 2日(月) 代休
 5日(木) 3年進研駿台共通テスト模試(～7日(土))
 7日(土) 1、2年スタディサポート
 10日(火) 3年面接指導および進路講演会
 14日(土) 3年土曜講座開始
 17日(火) 第3回P T A理事会
 25日(水) 2年2学期中間テスト(～27日(金))



10月 1日(火) 1、3年2学期中間テスト、2年修学旅行(～4日(金))
 3日(木) 1年保護者会
 5日(土) 英検②(一次)
 8日(火) 2年進路講演会
 11日(金) 3年進研駿台記述模試(～12日(土))
 15日(火) 薬物乱用防止・交通安全講話
 16日(水) 芸術鑑賞会(こんにゃく座オペラ「あん」於くろいそみるひホール)
 19日(土) 3年全統記述模試
 20日(日) 漢字検定②
 24日(木) 3年全統共通テスト模試(～26日(土))
 29日(火) 2年大学出張講義
 30日(水) 1年S T E A M特別講座(及び11月6日(水)) (MUSVI(株): 阪井祐介氏)



- 11月 1日(金) 3年進研共通テスト模試(～3日(日)、2日は3校合同で実施)
 2日(土) 1、2年進研記述模試
 12日(火) 1年キャリアガイダンス
 14日(木) 親子ふれあい長距離走大会・PTA支援活動
 18日(月) PTA広報委員会
 26日(火) 2学期末テスト(～29日(金))
 28日(木) 2年保護者会
 29日(金) 那須塩原市気候変動適応セミナー&ワークショップ(宇都宮大学:高橋若菜氏)



- 12月 6日(金) 那須塩原市DXフェロー講演会((株)ABEJA:岡田陽介氏)
 4日(水) 「総合的な探究の時間」2年代表グループ成果発表会
 17日(火) 3年共通テスト激励会
 20日(金) 第2学期終業式
 23日(月) 3年冬季課外(～26日(木))、2年冬季学習会(～25日(水))
- 1月 4日(土) 3年黒高共通プレテスト(～5日(日))
 6日(月) 第3学期始業式
 7日(火) 1、2年第2回実力テスト(～11日(木))
 17日(金) 2年進研記述模試(～18日(土))
 18日(土) 大学入学共通テスト(国際医療福祉大、～19日(日))、1年進研記述模試
 20日(月) 3年共通テスト自己採点、PTA広報委員会
 25日(土) 3年三者面談(～26日(日))、英検③(一次)
 21日(火) 1年進路講演会
 28日(火) 2年進路講演会
- 2月 3日(月) 3年特別学習期間開始
 6日(木) 特色選抜入試(生徒休業)
 13日(木) 1、2年学年末テスト(～18日(火))
 18日(火) 第2回学校運営協議会
 27日(木) 3年表彰式、予餞会
 28日(金) 卒業式予行、3年同窓会入会式
- 3月 1日(土) 卒業式、PTA3学年部会
 6日(木) 一般選抜入試(生徒休業)
 18日(火) 卒業生による受験報告会
 21日(金) 校内合唱コンクール
 24日(月) 修業式
 26日(水) 新入生オリエンテーション

令和6年度 進路状況

1 大学入学共通テスト結果について（平均点一覧表）（*は900点満点での平均点）

科目	黒高今年	黒高昨年	全国今年	全国昨年
6 教科理系	538.4	*448.4	633	*556
6 教科文系	545.4	*517.0	620	*536
国語	119.4	102.8	126.8	116.5
英語筆記(100点)	50.2	38.5	57.9	51.5
リスニング(100点)	54.1	58.1	61.4	67.2
数学ⅠA	47.3	39.2	53.7	51.4
数学ⅡB	44.4	47.4	51.8	57.7
日本史B	58.4	51.7	57.1	56.3
世界史B	72.5	49.9	66.2	60.3
地理B	49.7	53.1	57.6	65.7
公共政経	56.7		62.7	
公共倫理	49.3		59.8	
物理	55.0	50.9	59.1	63.0
化学	36.1	39.7	45.5	54.8
生物	48.2	43.3	52.3	54.8
化学基礎(50点)	25.1	23.2	27.1	27.3
生物基礎(50点)	27.9	27.1	31.5	31.6
情報	65.8		69.5	

2 3年生の進路状況について（1月31日現在）

- (1) 国公立大学 1名（茨城大学）
- (2) 私立大学 49名（国際医療福祉大学、白鷗大学、東洋大学など）
- (3) 短期大学 2名（宇都宮短期大学、国学院栃木短期大学）
- (4) 専門学校 13名（栃木県立衛生福祉大学校、宇都宮ビジネス電子専門学校など）
- (5) 就職 3名 民間1名 公務員2名（警察官 警察事務）

3 本年度実施した主な進路行事

《全体》

- 放課後自主学習（～18：40）
- 土曜自主学習（8：30～16：00）※定期テスト直前
- 夏季休業中の課外（全学年5日）
- スケジュール付き生徒手帳『クロポケ』の活用（スケジュール管理）

《1年》

- 4月 初期指導（千里の行プログラム）2日間実施
- 7月 進学先訪問（筑波大、群馬大、県内の大学を希望に合わせて訪問）
- 9月 類型説明会（文理選択について） 進路適性検査
- 10月 大学出張講義（宇都宮大・国際医療福祉大・白鷗大 9コース）
- 11月 キャリアガイダンス（職業人講話8コース）
- 1月 進路講演会（ベネッセ 大学入試や学習への取り組みについて）

《2年》

- 10月 進路講演会（ベネッセ 学習への取り組みについて）
保護者会進路講演会（マネープランについて）
夢ナビライブ（オンライン）
大学出張講義（宇都宮大・国際医療福祉大・白鷗大 9コース）
- 12月 講話『学習の指針』3年0学期指導
冬季学習会（希望者）本校 2日間）及び大学共通テスト特別講座（代ゼミ：国福大）
- 1月 進路ガイダンス（大学・短大・専門学校 ライセンスアカデミー）

《3年》

- 6月 進路ガイダンス（大学進路講演会、短大・専門学校 さんぼう）
- 6月 保護者会『進路決定に向けて』（進路指導部長講話）進路講演会（ベネッセ）
- 7月 平日課外開始 毎日放課後に1時間から2時間の講座を実施
大学共通テスト特別講座（代ゼミ：国福大）及び夏季学習会 計4日間で実施
- 9月～土曜講座
- 9月 面接指導（ライセンスアカデミー） 大学進路講話（ライセンスアカデミー）
- 11月 3校合同模試：国際医療福祉大会場 大高・大女高と合同で実施（2日（土））
- 12月 冬季休業中の課外（大学入学共通テスト対策課外）
年末年始学校開放（12/21, 22, 28, 29, 30, 1/11, 12, 13）
- 1月 大学入学共通テスト →国公立大志望校検討会 →三者懇談（年3回実施の最終回）
- 2月 個別試験対策指導

令和6年度 部活動 大会等成績

・男子ソフトテニス部		・男子バドミントン部			
栃木県高校総体ソフトテニス大会	男子個人	ベスト16	北部支部春季大会 団体	優勝	
関東高校ソフトテニス大会	男子個人	出場	ダブルス	優勝	
栃木県高校選手権大会	男子個人	ベスト16	シングルス	優勝	
栃高体連北部支部総合体育大会ソフトテニス大会	男子団体2チーム出場	準優勝	栃高体連県総体バドミントン競技会 団体	第5位	
		第3位		* 関東大会出場	
栃木県高校新人ソフトテニス大会	男子個人	ベスト16	ダブルス	ベスト16	
	団体男子	ベスト4	シングルス	ベスト16	
下野杯高校ソフトテニス大会		ベスト8	北部支部総体 団体	優勝	
			ダブルス	優勝	
			シングルス	優勝	
・女子ソフトテニス部			県学年別バドミントン大会 1年 ダブルス	優勝	
栃高体連北部支部総合体育大会春季大会	個人	第3位	1年 シングルス	ベスト8	
	団体	第2位	県新人バドミントン選手権大会 団体	ベスト8	
栃高体連北部支部総合体育大会ソフトテニス大会	個人	準優勝	北部支部新人大会 ダブルス	優勝	
	団体	第3位	北部支部新人大会 シングルス	優勝	
栃高体連北部支部新人ソフトテニス大会	個人	準優勝	・女子バドミントン部		
	団体	3位	北部支部春季大会 団体	優勝	
			ダブルス	優勝	
・陸上競技部				準優勝	
第70回栃木県陸上競技春季大会	女子走高跳	6位	北部支部総体 団体	優勝	
	女子やり投	4位	ダブルス	優勝	
	女子5000m	5位	シングルス	優勝	
第65回栃木県高等学校総合体育大会陸上競技	女子走高跳	4位	県学年別バドミントン大会 1年 ダブルス	ベスト16	
	女子やり投	2位	北部支部新人大会 ダブルス	準優勝	
	女子円盤投	4位	シングルス	優勝	
	女子5000m	6位	・女子バスケットボール部		
関東高校陸上競技大会女子走高跳・女子やり投・女子円盤投	出場		栃高体連県総体バスケットボール競技	ベスト16	
第64回栃木県高等学校新人陸上競技大会	男子やり投	5位	栃高体連北部支部総体バスケットボール大会	ベスト4	
関東新人陸上競技大会	男子やり投	出場	・男子バレー部		
			北部支部春季バレーボール大会	第3位	
・柔道部			・水泳部		
第72回関東高校柔道大会男子 団体	出場		関東高校水泳競技大会栃木県予選会 女子200m個メ	第3位	
関東ジュニア体重別選手権大会	出場		関東高校水泳競技大会 女子200m個メ	出場	
第2回関東高校柔道選抜大会	出場		・合唱部		
全国高校総体県予選女子 団体	第5位		第四八回全国高等学校総合文化祭岐阜大会合唱部門	合唱専門部長賞	
	48kg級	第5位	2名	第60回県合唱コンクール	銀賞
	63kg級	第5位		第31回栃木県ヴォーカルアンサンブルコンテスト	銀賞
関東ジュニア体重別選手権県予選 63kg級	第3位		・吹奏楽部		
県高校新人県関東選抜県予選 63kg級	第3位		第17回栃木県アンサンブルコンテスト県北地区大会	打楽器4重奏	金賞
	52kg級	第5位		第66回 栃木県吹奏楽コンクール B部門	銀賞
北部支部総体男子 団体	第3位			第7回JBA栃木県管打楽器ソロコンテスト	優良賞
	男子個人3年の部	優勝	・箏曲部		
	男子個人1年の部	第3位	第45回栃高文連日本音楽部会 春季発表会	優良賞	
	女子個人	第3位	第46回 栃高文連 日本音楽部会 秋季発表会	優良賞	
北部支部新人女子 個人	優勝		・茶華道部		
	準優勝		ikenobo花の甲子園(華道)	敢闘賞	
	66kg級	第3位	・科学部		
	女子個人	第3位	第6回栃高文連自然科学部会研究発表会 化学部門	最優秀賞	
・卓球部			(次年度全国総合文化祭出場)		
北部支部 春季卓球大会 女子シングルス	ベスト4				